

AI等のデジタル技術の導入と 労使コミュニケーションについて

会社概要

創業99年

創業 : 1921(大正10)年4月1日
資本金 : 2億円
代表者 : 代表取締役 荒木 雷太
売上高 : 169億円(2020年6月実績)
従業員数 : 211名(男性190名 女性21名 2020年6月現在)
平均年齢 : 44.5歳(2020年6月現在)
事業内容 : 総合建設業(特定建設業)
所在地 : [本社]
〒700-8540 岡山県岡山市北区天瀬4番33号
TEL(086)222-6841 FAX(086)231-5409
[広島営業所]
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀3-12 新興ビル
TEL (082)221-9065 FAX (082)221-6925
[笠岡営業所]
〒714-0086 岡山県笠岡市5番町5-27
TEL(0865)63-0750 FAX(0865)63-1294
[福山営業所・プレゼンテーションオフィス]
〒720-0812 広島県福山市霞町1丁目8番15号 霞町ビル4階
TEL(084)983-1418 FAX(084)983-1419
[津山営業所・プレゼンテーションオフィス]
〒708-0004 岡山県津山市山北535-1
TEL(0868)22-8300 FAX(0868)22-0340

雇用形態の内訳

正規 : 163名
準正規 : 46名
雇員 : 2名

職種の構成

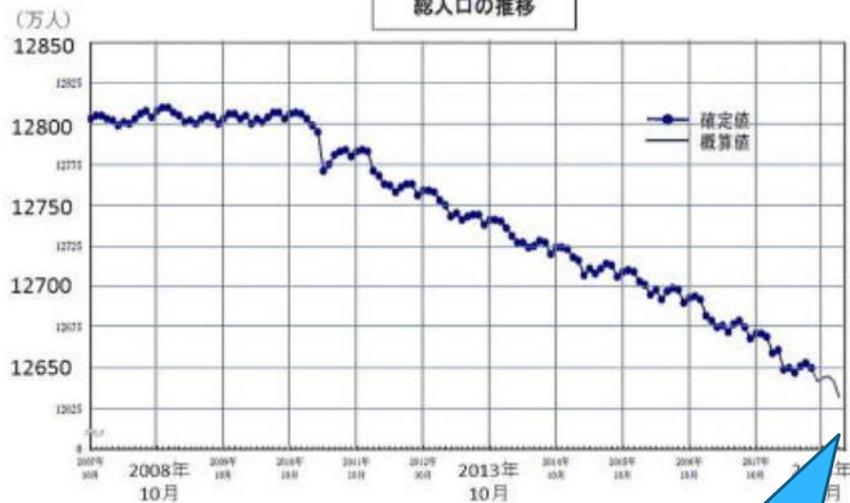
管理部門 : 30名
営業部門 : 48名
工事部門 : 133名

※ 労働組合なし

取り組みのきっかけ

- ・人口減少時代になり、入職者減少
 - ・技術者高齢化による離職
- ⇒ 労働力過剰時代から労働力不足時代へ

総人口の推移

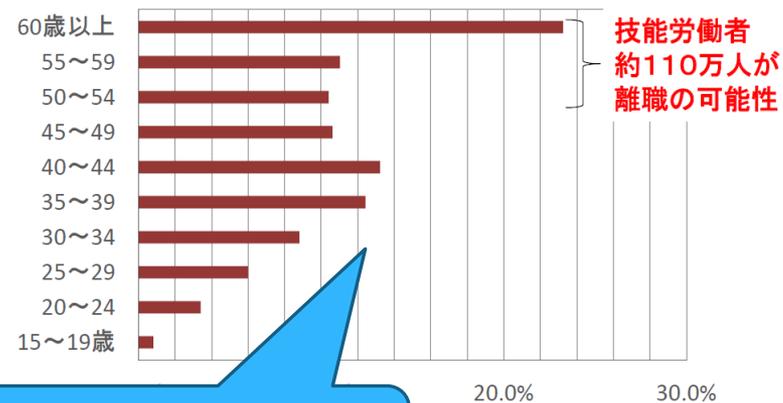


※総務省統計局作成資料引用

10年で200万人の減少

- 技能労働者約340万人のうち、今後10年間で約110万人が高齢化等により離職の可能性
- 若年者の入職が少ない(29歳以下は全体の約1割)

2014年度 就業者年齢構成



技能労働者
約110万人が
離職の可能性

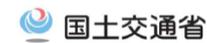
入職者の減少と技術者の
高齢化による離職

※国土交通省作成資料引用

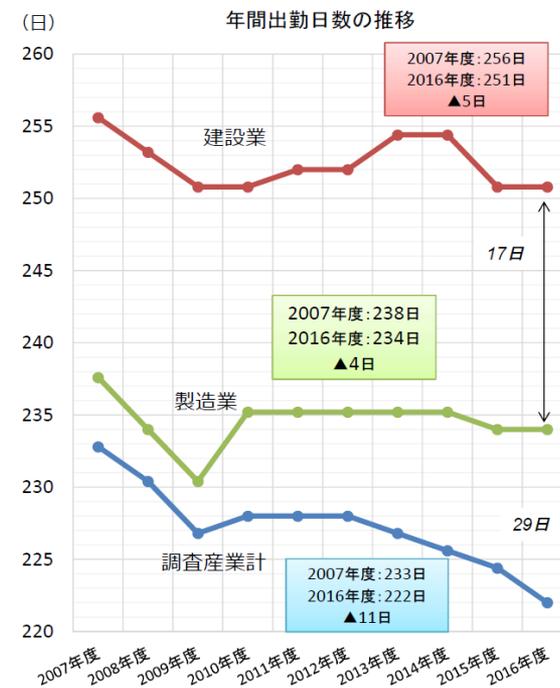
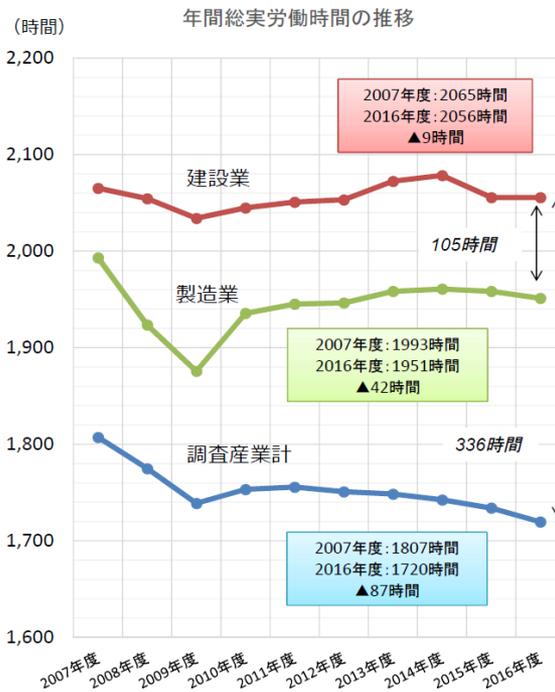
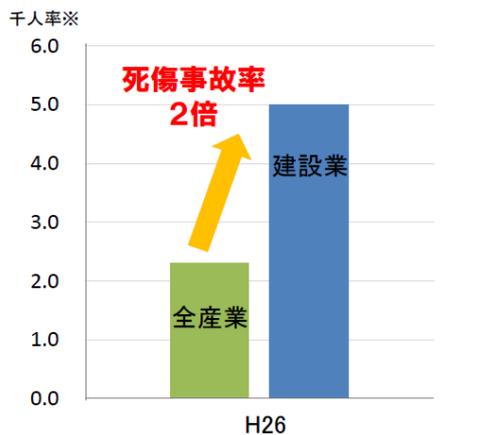
- ・建設業は3K職場
- ・他業種に比べ死傷事故率は高く、労働時間は長い

○ 全産業と比べて、2倍の死傷事故率(年間労働者の約0.5%(全産業約0.25%))

実労働時間及び出勤日数の推移(建設業と他産業の比較)



死傷事故率の比較



※国土交通省作成資料引用

6 出典：厚生労働省「毎月勤労統計調査」年度報より国土交通省作成

- ・ 建設業界を悲観、諦めるだけでよいのか？
→ 「ぶち壊せ、業界の働き方。舵を取れ、未来を担う者。」



ぶち壊せ、
業界の働き方。
舵を取れ、
未来を担う者。

世界一働きやすい会社になる。
よからずも働きやすい会社、業界の働き方、ぶち壊せ、舵を取れ、未来を担う者。
ぶち壊せ、業界の働き方。舵を取れ、未来を担う者。
ぶち壊せ、業界の働き方。舵を取れ、未来を担う者。
ぶち壊せ、業界の働き方。舵を取れ、未来を担う者。
ぶち壊せ、業界の働き方。舵を取れ、未来を担う者。

荒木組 経営企画部

人気があって辞め
ない会社へ

- ・ 若年者の入職促進
- ・ 早期退職の防止

人材が育つ
会社へ

- ・ 就業環境を整える
- ・ 建設事業者の育成

誇りと働きがい
のある会社へ

- ・ 効率化・省力化できて、働きやすく
- ・ 楽しんでイキイキと働く

荒木組は『3つの目線』を大事にしています

今日一日働いた中で、

小

- ・いつも通りの仕事を正確にやり抜くことに使った時間
- ・夢の実現に向けて、今までとは違う仕事のやり方や内容を考えることに使った時間

この2つの時間のバランスがとれているだろうか？

今週働いた中で、

中

- ・自分の前工程の仕事が自分に適切に届けられること
- ・自分の後工程へ仕事を適切に届けること
- ・自分の横工程の仕事とのやりとりを充分すること

この3つの仕事の流れに問題はなかったか？

今月働いた中で、

大

- ・自分が決めた自分の仕事の範囲
- ・周りが自分に期待している仕事の範囲

この2つにどのくらい差があるだろうか？
差を埋めるにはどうしたらよいだろうか？

荒木組は業務のグレードアップのための『4ステップサイクル』を徹底しています

1

• 疑問とアイデアの案出

2

• 起案とメリット・デメリット

3

• 審議と合意

4

• 周知と納得

・4ステップサイクルを踏まえた労使コミュニケーションの例

- ① 全社員会議(1月、4月、7月の年3回。全社員が参加)
⇒ 当社を取り巻く内部環境、外部環境の再確認
- ② 月例部門会議(毎月1回。役員と各部門長が参加)
- ③ 部会(部門ごと開催。部門長と部員が参加)
- ④ 部門横断型プロジェクト会議(プロジェクトごと)
⇒ 縦割りではない、横のつながりを重視したプロジェクト体
- ⑤ 安全衛生委員会
⇒ 管理職以上と非管理職でメンバー構成をわけて、
非管理職で上がった意見を翌月に管理職が対応する

取り組み事例紹介

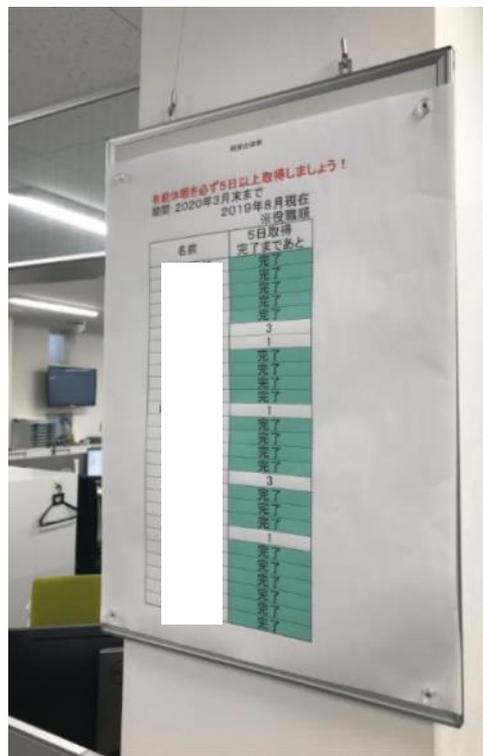
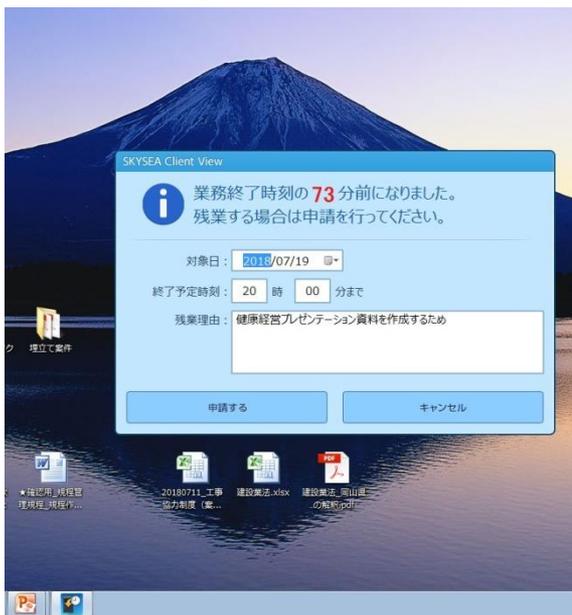
①働きやすさ改善(デジタル対策とアナログ対策の両面で)

- ・各PCの自動終了による残業抑制

⇒ 上司・管理部門の声かけではなく、AIに実施させる

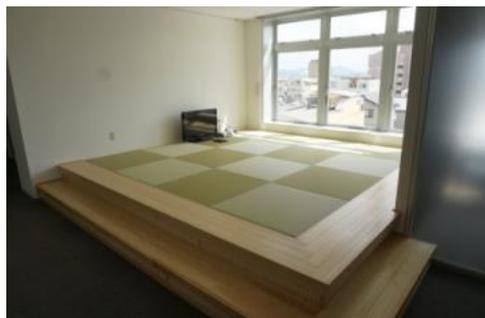
- ・法定の有休取得日数を掲示 ⇒ 休暇の可視化

- ・いきいきWORKボード設置 ⇒ 行動の可視化



- ・タテニワの群生と快適な執務室と休憩スペース設営
- ・建設現場の温水洗浄洋式トイレ及び女性用トイレの設置
- ・パーティション、キャビネットの高さを低くしたフルフラットな職場環境構築
- ・癒しの休憩所設置

事務所



建設現場



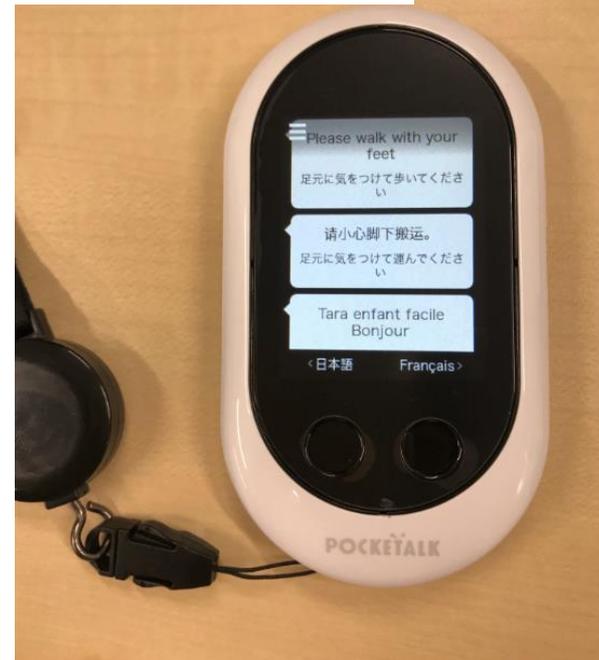
②コミュニケーション活性化

- ・『ありがとうカード』の画期的運用 ⇒ 従業員満足度調査の結果より実施
- ・POCKETALK (ポケットーク) の活用 ⇒ 外国人入職者と会話し易く
- ・『イベントの日』を毎年実施 (温泉旅行、社員と家族とのバーベキューなど)



POCKETALK
ポケットーク

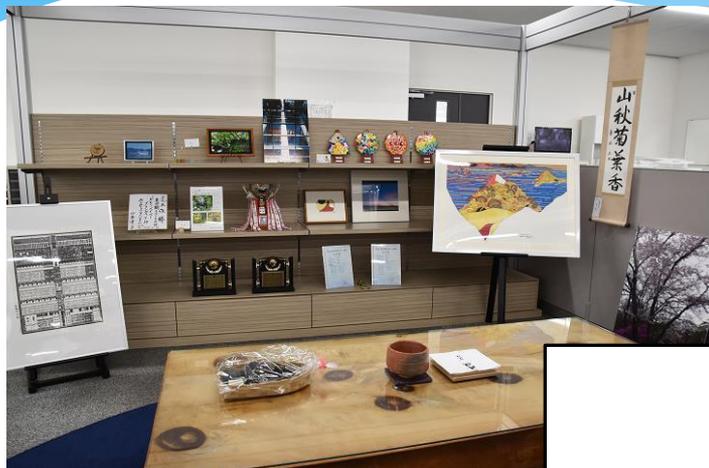
おかげさまで
シェア 連続21か月
94.8% No.1



・趣味のコーナー

⇒ 各社員の趣味を知ってもらい、会話につなげる

- ・毎年4月の創立記念日の行事に各功績を表彰
- ・現場辞令の交付



着任する現場が決定
次第、社長より手渡し

辞 令

工務本部建築部工事グループ
課長

工事名
第2工場南ヤード建築工事

上記工事の
所長を命ずる

令和3年1月5日
株式会社 荒 木 組
代表取締役 荒木 雷夫



③教育制度とコミュニケーション

- 一般職、管理職との階層別教育の実施(それぞれ年3回ずつ)
- 『アラキ・アカデミー』での協力会社との健康・安全意識共有、推進
- メンター制度による親睦会と従業員間の交流会の促進

荒木組

主任・一般職向け
対象者 男性41名、女性5名

部下・後輩に向き合うエンゲージメント向上研修
～コンピテンシーを活用した部下育成～

経営陣や部下からの信頼を勝ち取る
～三ツ星管理職 育成研修～

2019年 株式会社 荒木組

課長・副課長向け
対象者 男性30名、女性8名

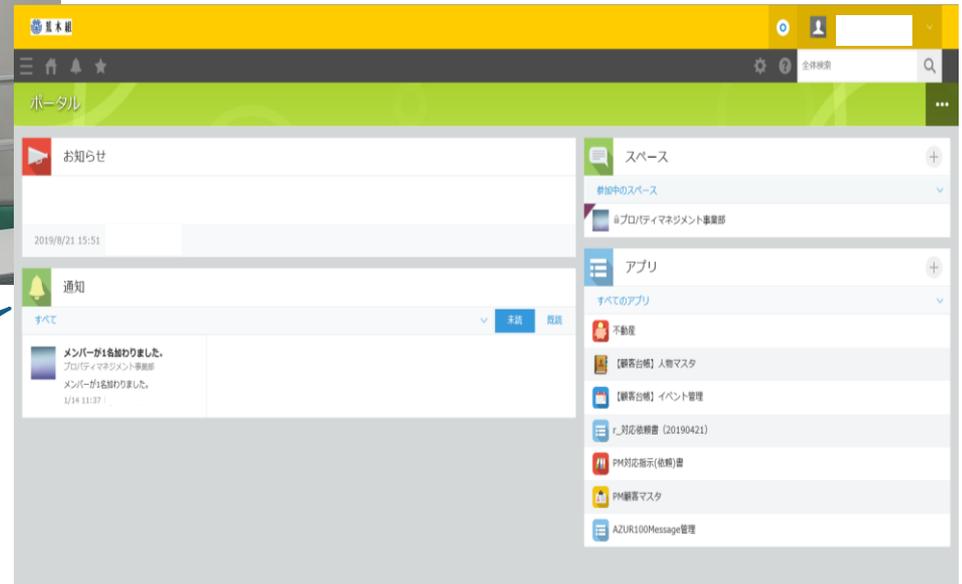
2019年 株式会社 荒木組 5層級～6層級研修

Copyright©2019 CAREERPLANNING corporation All rights Reserved



④実務のICT活用

- ・本社、4営業所とのテレビ会議常時接続
- ・全員にPCを支給してグループウェア「サイボウズ」で情報共有
- ・自作業務アプリ「キントーン」での営業情報の共有



キントーンでの営業部・工務本部・関連会社との情報共有

・ドローン活用による測量



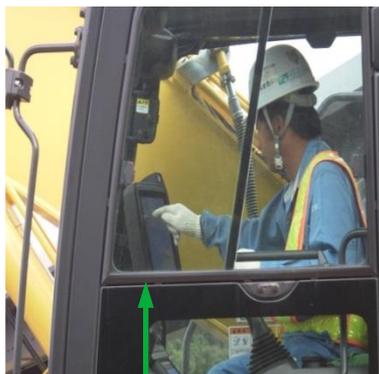
ドローンを使った測量風景

○生産性向上（三次元測量）

分析項目	良好 ←	→ 悪化			備考	
作業	計測作業効率	大幅に向上 ⊖	少し向上	従来同等	低下	従来測量では3人編成で4日かかっていたが、2人編成で1日できた
	図化作業効率	大幅に向上	少し向上	従来同等 ⊕	低下	ソフトでの解析作業に時間を要する
	のべ作業員	大幅に減少	少し減少 ⊖	従来同等	増加	1回の計測を2名で作業可能
品質・精度	大幅に向上	少し向上	従来同等 ⊕	低下	従来通りの実測作業との誤差は5cm以内	
安全性	大幅に向上 ⊖	少し向上	従来同等	低下	計測箇所へ移動する必要がないため安全	

3年を経て、現状では従来同等の効率に上昇

・MCバックホウを使用した施工 ⇒重機を扱える人材の高齢化にも対応



■コントロールボックス
12.1インチ

インテリジェントマシンコントロール

○生産性向上（マシンコントロール重機による施工）

分析項目	良好 ←	←	→	悪化	備考
作業 施工スピード	大幅に向上	少し向上	従来同等	低下	丁張確認作業が減少したことで施工スピードが向上
のべ作業員	大幅に減少	少し減少	従来同等	増加	本工事では検証作業のため従来通りの作業員を配置
手戻り	大幅に減少	少し減少	従来同等	増加	MCにより深掘り等が発生しないため手戻りが減少
品質・精度	大幅に向上	少し向上	従来同等	低下	GPS受信状態が悪い箇所については従来施工が必要
安全性	大幅に向上	少し向上	従来同等	低下	建機から降りて丁張りを確認する回数が減少し、安全性も向上

作業員の減少！

3年経てGPS精度向上

取り組みの効果として

①時間外労働の状況

2015年	308.5時間
2018年	258.2時間
2019年	237.1時間

②年次有給休暇の取得状況

2017年	取得日数	9.6日
2018年	取得日数	11.9日
2019年	取得日数	15.2日

③2014～2019年間の間の退職者数

年間当たり平均2.3名

(10年以上勤続の社員が全体の54%)

荒木組が受けた認定・表彰



2020年8月～2023年8月

安全衛生優良企業

(厚生労働省)
2017年7月認定
2020年8月再認定
【岡山県初の認定】



2020
健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営優良法人
2020

(経済産業省)
2020年2月認定

【2018年より3年連続】



第5回「ホワイト企業大賞」
大賞

(ホワイト企業大賞
企画委員会)
2019年1月受賞



第3回「働きやすく生産性の
高い企業・職場表彰」
最優秀賞(厚生労働大臣賞)

(厚生労働省)
2019年2月受賞

荒木組の取り組みが多くのご団体さまから評価をいただきました

新型コロナウイルス感染症拡大防止について

・新型コロナウイルスへの対策

本社内2チーム勤務体制、現場での休憩の交代制

布マスク、消毒液、うがい薬の配付

マイクロソフト「チームズ」の活用でリモート会議の推進

マイカー・自転車出勤の励行と公共交通機関の時差出勤

PCR検査キット、抗体キットの備蓄

5月の連休、年末年始休を長期休暇に

・コミュニケーション推進のための物理的対策(事務所)



応接室や通路に
ウィルスキラー装置



対面テーブルに
アクリル板



入口に検温機

・コミュニケーション推進のための物理的対策(現場事務所)



空気清浄機・加湿器の設置



対面テーブルにアクリル板



入口に検温機



休憩所・喫煙所の換気と仕切り徹底

ご清聴ありがとうございました